

## 2022年度の連携・協働活動の計画

### 【目次】

1. 2022年度の連携・協働活動の計画	P2
2. 東京デザイン専門学校	P3
3. つばさ北小学校（10/7(金)環境学習計画）	P5
4. N財団連携企画（11月イベント実施計画案）	P6
5. S財団	P7
① 11/9（水）協定締結式計画案	
② 環境保全プログラム案	
6. 大和ハウス（株）埼玉支社	P9
7. マーケットリサーチ（高校生物部、エコプロ2022）	P10

### 【堂本委員長】

- 2022年度の連携・協働活動の計画です。
- 詳細は事務局より説明をお願いします。

# 1. 2022年度の連携・協働活動の計画

● 2022年度 10月以降の活動予定は、下記の通りです。

- |                |          |                    |     |                       |
|----------------|----------|--------------------|-----|-----------------------|
| ■ 東京デザイン専門学校   | 10月3日・4日 | プレゼンテーション、11月中旬    | 表彰式 | 場所：東京デザイン専門学校         |
| ■ つばさ北小学校      | 10月7日（金） | 環境学習 2回目           |     | 場所：つばさ北小・太郎右衛門自然再生地中池 |
| ■ N財団連携企画      | 11月中旬    | 「海と日本プロジェクト」イベント実施 |     | 場所：つばさ北小              |
| ■ S財団          | 11月9日（水） | 協定締結式              |     | 場所：川島町役場・太郎右衛門自然再生地中池 |
|                | 12月3日（土） | 環境保全活動             |     | 場所：太郎右衛門自然再生地中池       |
| ■ 大和ハウス(株)埼玉支社 | 11月上旬    | 社会貢献               |     | 場所：太郎右衛門自然再生地中池       |

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マーケット リサーチ	21日（木）： S財団	10日（火）：A社 18日（水）：S大 学					22日（月）：高 校生物部			8日 ：エコプロ2022		
協働・連携	学校関係	つばさ北 小学校	11日（水）：環境学 習①					7日（金）：環境 学習②				
		桶川西高 校	17日（日）：協 議会取組動画のナ レーション（放送 部） 29日（祝・ 金）：かわしまは るかぜウォーク （科学部）						23日（祝・水） ：川島町農業商工 祭（科学部）			
	イ東京デ ザ ン S	24日（火）：事 前打合せ	28日（火）：オ リエンテーション	5日（火）：現地 視察 11日（月）・12 日（火）：意見交 換会			10月3日・4日： プレゼンテーショ ン	11月中旬：表彰 式				
	団 体	S財 団						9日（水）：協定 締結式	3日（土）：環境 保全活動①			
NPO・ 民間企業 等	21日（木）： （株）サイサン新 人社員研修						15日（月）：（公 財）サイサン環境保 全基金助成申請の 切	中旬 ・N財団連携イベ ント ・大和ハウス社会 貢献				

【事務局メモ】

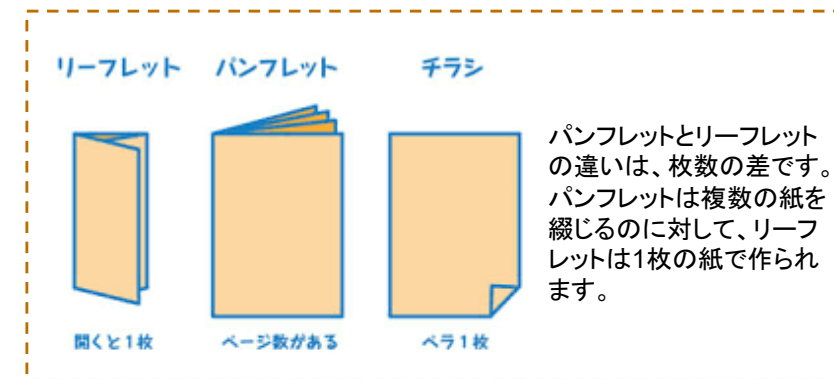
- S財団：一般財団法人セブン-イレブン記念財団  
A社：アサヒグループ（アサヒユウアス株式会社）  
S大学：聖学院大学  
高校生物部：チームアライグマ

## 2. 東京デザイン専門学校

●東京デザイン専門学校・ビジュアルデザイン科3年生（A組20名、B組23名）の皆さんと、リーフレット制作を進めています。

### ○基本方針

- ・ 自然再生地の認知度向上や、維持管理をはじめ協議会の諸活動への関心を高めることをプロジェクトの目的とする。
- ・ リーフレット制作は「中池に行ってみたいと思う」こと、「ボランティアや協議会メンバーへの参加を促す」ことを目標とする。
  - ✓ 「中池を知る → 関心を持つ → 価値を感じる → 利用する → 愛着を持つ」というプロセスの先に、自然再生地の認知向上、維持管理活動や協議会活動全体への理解がある。
  - ✓ 2種類の制作課題を設定し、各々の最優秀賞を採用案としてする。
  - ✓ 制作課題の企画はグループワーク、デザイン編集は個人ワークで取り組む。



### ○講義内容

- ・ 目的：デザインによる問題解決  
～デザインのカで「荒川太郎右衛門自然再生地」の価値を高める～
- ・ 課題：リーフレットの企画デザイン

### ○スケジュール（案）

年月	2022年6月		7月				8月	9月					10月				11月	12月
週	3	4	1	2	3	4	夏休み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	採用案の修正作業	印刷
講義		28日 合同オリエンテーション	5日 現地視察	11・12日 意見交換会	企画 (グループワーク)				デザイン編集(個人ワーク)					3・4日 プレゼンテーション	評価選定			

- ・ 6月28日 合同オリエンテーション
- ・ 7月5日 現地視察
- ・ 7月11日・12日 意見交換会（グループワーク）
- ・ 10月3日・4日 プレゼンテーション
- ・ 10月末 評価結果報告 & 表彰式（合同）
- ・ 11月上～下旬 採用案の修正作業
- ・ 12月 印刷

## 2. 東京デザイン専門学校

Aクラス・Bクラス 合同オリエンテーション (2022.6.28)



中池現地視察 (2022.7.5)



意見交換会 (2022.7.11・12)



# 3. つばさ北小学校（10/7(金)環境学習計画案）

- 目的：児童による自然再生活動と、自然再生地の現況を体験的に理解する学習活動を支援します。
- 実施日：10月7日（金）8:45～12:00（予備日：10月11日（火）同時間）
- 内容：【学校】草花の植え替え作業、【現地】体験活動 水生生物観察、草花の移植作業
- 移植植物：学校で育てた荒川の草花・学校間交流により提供された草花
- 広報：テレビ、ラジオ、新聞等のメディアへ情報提供予定
- 必要資材：移植する草花の苗、ポット、スコップ、救急セット、ブルーシート

## 【スケジュール】

時間	内容
8:45(35)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■オリエンテーション（つばさ北小学校）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶(2分)</li> <li>・本日の流れの説明(1分)</li> </ul> </li> <li>■草花の植え替え作業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・植え替えの理由と方法の説明（2分）</li> <li>・草花の植え替え作業（25分）</li> <li>・自然再生地での体験活動についての説明（3分）</li> <li>・記念撮影（2分）</li> </ul> </li> </ul>
9:20(15)	トイレ休憩・教室から八ツ保公民館へ移動
9:35(15)	バス移動（八ツ保公民館→中池駐車場）
9:50(10)	徒歩移動（駐車場→中池活動エリア）
10:00(35)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■体験活動①「草花の移植作業」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・移植時の注意点の説明</li> <li>・学校から持参した植物の移植作業</li> </ul> </li> <li>■記念撮影</li> </ul>
10:35(10)	休憩
10:45(45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■体験活動②「水生生物観察」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に設置した仕掛けの回収</li> <li>・仕掛けに入った水生生物のうち、主だった種を解説</li> </ul> </li> </ul>
11:30(5)	■閉会挨拶
11:35(10)	徒歩移動（中池活動エリア→駐車場）
11:45(15)	バス移動（中池駐車場→八ツ保公民館）
12:00	八ツ保公民館到着


【対応者】協議会・事務局（1名）・運営事務局(3名)

【現地活動場所】



# 4. N財団連携企画（11月イベント実施計画案）

- 太郎右衛門自然再生事業が荒川の自然再生にとどまらず、幅広い環境問題の解決につながることを川島町をはじめとした荒川流域の市民に周知することを目的とします。実施にあたり、「森のタンブラー」をはじめとしたサステナブルプロダクツの開発・販売により海洋プラスチックによる海洋汚染などの社会課題の解決を目指しているA社と連携します。
- 令和2年度より自然再生活動に関わる川島町立つばさ北小学校の児童を対象とします。太郎右衛門自然再生地で行っている保全活動と海との繋がりについての学習機会とするとともに、これまでの活動の意義を再確認する機会とします。

N財団「海と日本プロジェクト」イベント実施計画案		備考	
日程	【プログラム1】 2022年11月中旬      【プログラム2】 2023年2月上旬	※日程調整中	
場所	【プログラム1】 川島町立つばさ北小学校（オンライン配信※） 【プログラム2】 太郎右衛門自然再生地中池	※新型コロナウイルス対策のため、オンライン配信による実施とします。	
対象	川島町つばさ北小学校の4年～6年の児童		
内容	<p>【プログラム1】 「太郎右衛門自然再生地と森のタンブラーの取組みについて知ろう(仮)」</p> <p>① 太郎右衛門自然再生地の取組みと活動報告 ② 海洋プラスチックごみ問題と森のタンブラーについて ③ 森のタンブラーお絵描きワークショップ</p> <p>・③では、つばさ北小学校の児童たちが森のタンブラーにお絵描きをし、オリジナルタンブラーを製作します。</p> <p>・タンブラーへのお絵描きは特殊な加工となるため、A社社員による指導のもと実施します。</p>	<p>【プログラム2】 「森のタンブラーで草花の苗を育ててみよう(仮)」</p> <p>① 太郎右衛門自然再生地に植え戻す草花についての解説 ② 種まきと育て方についての解説 ③ 種のお渡し式</p> <p>・つばさ北小の児童たちに荒川の草花のたねを渡し、オリジナルタンブラーを鉢として活用し水耕栽培を行います。</p> <p>・水耕栽培で育てた苗は、4～5月頃に太郎右衛門自然再生地に植え戻すことを想定します。</p>	<p>【森のタンブラーのイメージ】</p> 
連携パートナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A社    ・川島町立つばさ北小学校    ・川島町教育委員会</li> </ul>		
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FM NACK5放送内で告知    ・FM NACK5ホームページ    ・テレビ埼玉    ・新聞媒体</li> <li>・自治体広報誌へ掲載</li> </ul> <p>※プレスリリースし、当日の取材を促します。</p>		

# 5. S財団 ①11/9 (水) 協定締結式計画案

- S財団との協定締結にあたり、S財団および荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の取り組みを対外的にアピールするために、下記要領で協定締結式を実施します。協定締結式を川島町役場で行ったのち、活動拠点となる太郎右衛門自然再生地中池に移動し記念植樹等を行う2部構成とします。実施にあたっては、プレスリリースを行う予定です。

【協定締結式スケジュール】

時間	内容	備考
9:30	挨拶	4名
9:45	自然再生事業概要説明	堂本委員長
9:50	環境保全活動紹介動画再生※	※川島町立つばさ北小の活動紹介動画
10:00	調印	
10:15	記念撮影	
10:20	終了	事務連絡 運営事務局

【記念植樹等スケジュール】

時間	内容	備考
11:15	太郎右衛門自然再生地 視察 現地解説	堂本委員長
11:30	看板の除幕式挨拶	※看板製作進捗状況により別日になる可能性あり
	看板の除幕	
	記念植樹 植樹する樹木の説明	
	植樹作業	
11:50	記念撮影	
	挨拶	
12:00	終了	

## S財団協定締結式計画案

## 備考

日時	2022年11月9日 (水) 9:30~12:00	小雨決行
場所	協定締結式：川島町役場 除幕式・記念植樹：太郎右衛門自然再生地 中池	
内容	<p><b>【協定締結式】</b> S財団、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会、川島町、国土交通省荒川上流河川事務所の四者で太郎右衛門自然再生地における協定締結式を行います。</p> <p><b>【記念植樹等】</b> 協定締結の記念に在来種の樹木5種（予定）の植樹を行います。</p>	<p>記念植樹対象樹木</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴマキ</li> <li>・クヌギ</li> <li>・アカメヤナギ</li> <li>・エノキ</li> <li>・ハンノキ</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S財団</li> <li>・荒川太郎右衛門地区自然再生協議会</li> <li>・川島町</li> <li>・国土交通省荒川上流河川事務所</li> <li>・川島町立つばさ北小学校※</li> </ul>	※事前に収録している児童による活動紹介動画を放映します。

## 【会場】



# 5. S財団② 環境保全プログラム案

- 太郎右衛門自然再生地 中池のオギ群落再生地において、オギ原の創出を目指します。
- 太郎右衛門自然再生地 中池のサクラソウ群落再生地において、サクラソウ開花にむけ刈り取ったヨシの運び出しを行います。
- 自然再生地の整備・保全活動がどのように荒川流域の環境改善に繋がるのか、現地で楽しく学ぶ機会とします。

環境保全プログラム 実施概要		備考
名称	S財団環境保全プログラム（仮）	
日時	2022年12月3日（土）9:30～12:00 / 2023年4月〇日（〇）9:30～12:00（S財団との協議により日程調整）	
場所	太郎右衛門自然再生地（中池）	
12月 プログラム内容	<p><b>【環境保全活動】</b>  <b>オギ群落再生地</b>            ・オギの掘取と蒔き出し</p> <p><b>サクラソウ群落再生地</b>            ・刈り取ったヨシの運び出し            ・周囲から侵入する竹の伐採、枝落とし、運び出し</p>	<p><b>【自然再生についての学び】（案）</b>            ・自然再生の経緯や意義について紹介            ・自然再生地が目指している姿と進捗、課題について紹介            ・自然再生の最近の状況やトピックの共有</p> <p><b>【クイズ&amp;スタンプラリー】（案）</b>            ・中池各所に設置された自然再生地に関するクイズに答えると、スタンプを押すことができます。楽しみながら太郎右衛門自然再生地について知る機会とします。</p>
4月 プログラム内容	<p><b>【環境保全活動】</b>  <b>オギ群落再生地等</b>            ・クズなどのつる性植物の除去            ・シンジュやセイタカアワダチソウなどの外来植物の除去</p>	<p><b>【自然再生についての学び】（案）</b>            ・自然再生の経緯や意義について紹介            ・自然再生地が目指している姿と進捗、課題について紹介            ・自然再生の最近の状況やトピックの共有</p> <p><b>【ネイチャーフォトセッション】（案）</b>            ・中池各所での自然観察に参加しながら、気に入った風景や動植物について、携帯やカメラでそれぞれ撮影します。            ・撮影終了後、全員が閲覧できるオンラインアルバムについて案内しますので、それぞれ気に入った写真をアップロードします。            ・撮影者了承の元、ご自身のFBやインスタグラムなどSNSへ、#太郎右衛門自然再生地のハッシュタグをつけて投稿します。</p> <p>※撮影者がアップロードや投稿できない場合は、撮影者了承の元、事務局が代理でアップロードや投稿をします。</p>



## 6. 大和ハウス株式会社 埼玉支社

- 11月中旬に太郎右衛門自然再生地 中池にて、大和ハウス株式会社 埼玉支社社員による社会貢献活動を予定しています。実施エリアは中池入口付近の草地で、春の日照条件を確保するために、枯れて地上部を覆っている外来植物等の除草を中心とした作業を想定しています。※実施エリアについては、現在調整中。

【中池入口付近の様子 2022.9.16撮影】



【昨年度の活動の様子 2021.11.11】



## 7. マーケットリサーチ

# 5. マーケットリサーチ（高校生物部 チームアライグマ）

- 8月22日（月）高校生物部の定例会の中で、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の取組の紹介とともに、太郎右衛門自然再生で求められるモニタリング活動のメニュー例を紹介しました。  
9校（約50名）の高校生が参加し、提示した調査内容に興味を示す生徒もいたことから、モニタリング活動の担い手確保につながるよう、今後も継続的に情報提供をしていきます。  
※ 提示したモニタリングメニューの活動を希望する場合、各校から協議会（運営事務局）へ連絡する流れとします。

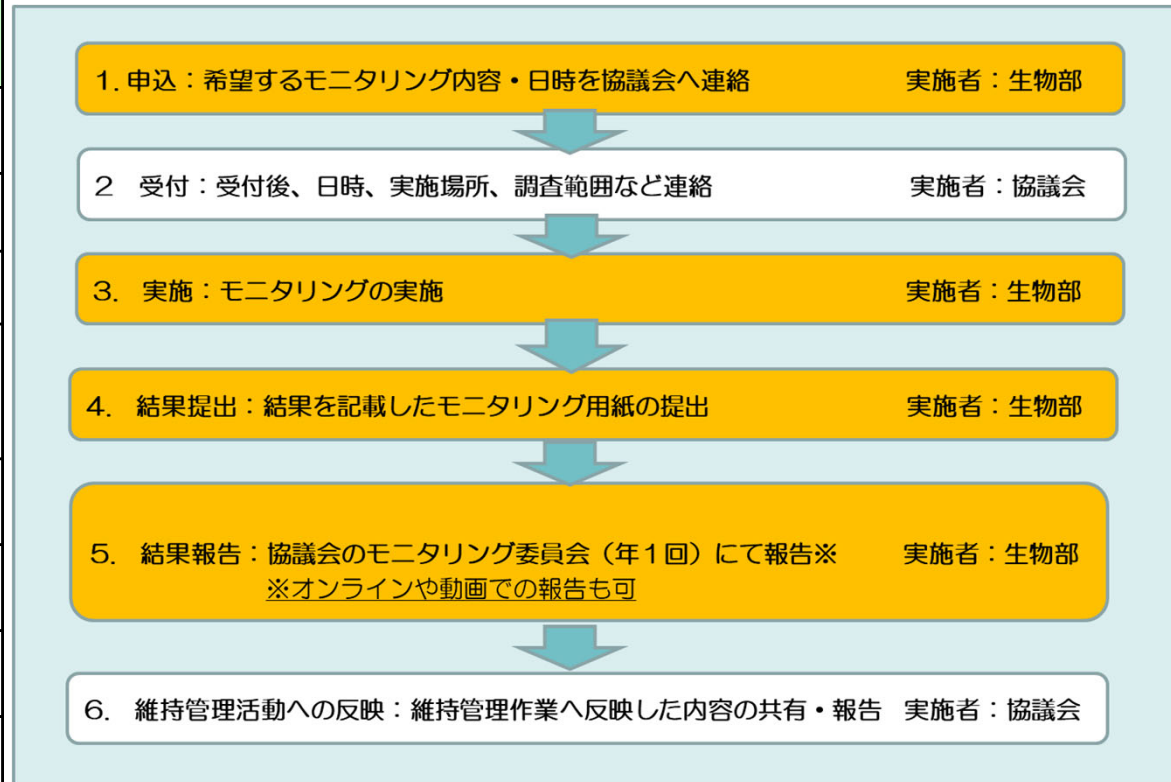
## 高校生物部 チームアライグマ

埼玉県内高校10校と都内中学校1校の生物部で構成され、平成26年に結成されました。高校生物部のネットワークによる調査活動を行い、アライグマの分布等の調査等を実施しシンポジウムを行ったり、学会で発表など行っています。

### 【モニタリング活動例】

調査内容	調査項目
自然再生事業における 目標種の生育生息を確認する 調査	① アカガエルの卵塊
	② オオタカの営巣※
	③ ミドリシジミの発生
維持管理の効果を把握する 調査	④ サクラソウ、 及びサクラソウ群落再生地に 移植した荒川の草花の生育
	⑤ 外来植物オオカワチシャの分布
	⑥ チガヤ・オギ群落の再生
	⑦ 希少種エキサイゼリの分布※
その他	⑧ 昆虫全般の生息 (昆虫談話会とのコラボを想定)

### 【モニタリング活動の流れ】



※希少種の調査については、情報の取り扱いの点などから他の調査活動とは調査方法やプロセス等が異なることを補足説明しています。

## 5. マーケットリサーチ（エコプロ2022）

- 12月8日（木）に、協議会および事務局によるエコプロ2022訪問を予定しています。（第46回維持管理・環境管理専門委員会内で確認）

